

家畜衛生情報誌

『 一 支 国 』

2016. 新年号



<ライトアップされた猿岩> ©吉崎砂浜図鑑

吉岐振興局農林水産部 吉岐家畜保健衛生所

〒811-5734 長崎県吉岐市芦辺町国分本村触1385-1 TEL : (0920)45-3031

E-mail : s13230@pref.nagasaki.lg.jp

FAX : (0920)45-3386

新年を迎えて



新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年一年は、肉用牛の子牛価格が全国的にも壱岐市場でも高値で推移し、牛肉価格も堅調に推移しました。特に子牛平均価格は壱岐市場の過去最高を更新するなど、繁殖農家に取りましては、願ってもない1年でしたが、反面肥育農家に取りましては今後の枝肉価格の動向が心配されます。また繁殖農家にとっても更新や増頭が難しい時でもあります。

そういう中、繁殖農家の皆さん方は、年1産を達成し、生まれた子牛を丈夫に育てて、市場に上場することが大切です。そのために母牛の分娩前後の増飼いや子牛の防寒対策の徹底、疾病の早期発見、治療など、日頃の飼養管理の徹底をお願いします。

家畜伝染病関係では、世界中で口蹄疫、鳥インフルエンザ等海外悪性伝染病が頻発し、特に人、物の交流が多い台湾、韓国、中国等の近隣諸国で続発し、日本への侵入の危険性が高い状況にあります。引き続き、農場、畜舎への出入り時の消毒や、不要・不急の部外者は農場へ出入りさせないなど、飼養衛生管理基準の徹底をお願いします。

この一年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

壱岐家畜保健衛生所 所長 岩永 政弘



鳥インフルエンザ防疫演習を実施しました

去る11月30日に壱岐地区鳥インフルエンザ防疫演習を実施しました。

演習では、午前中に机上演習を実施し、異常通報事案発生時の連絡体制の確認を行いました。午後からは、防疫作業従事者の健康診断、防護服の着脱、生きた鶏を使った捕鳥作業、殺処分（模擬）の手順を確認しました。また今年度も、暗い場所で紫外線を当てると光る塗料（手洗いチェッカー）を用いた防疫作業者の防護服脱衣後の汚染状況確認を行いました。

結果、衛生的な防護服の脱衣が行われたため、汚染された作業員はいませんでした。



防護服の着衣



捕鳥作業

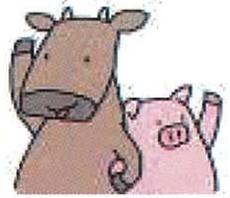


炭酸ガスによる殺処分

平成28年の定期報告をお願いします！

家畜を飼養している方は、家畜伝染病予防法により1年に1度県への報告が義務付けられています。

昨年提出された方も、今年の提出が必要になりますので、よろしくをお願いします。



●対象者：牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし、鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥を飼養するすべての方

●報告する内容

①基本情報 (所定の様式)

家畜所有者と管理者の氏名、住所、農場の名称と住所、家畜の種類と頭羽数

②飼養衛生管理基準の遵守状況 (所定の様式)

③農場敷地の平面図 (③～⑤は様式自由)

※衛生管理区域の出入口、消毒施設の設置箇所を図中に明示したもの

④設置した消毒設備の種類 (例：踏込消毒槽、動力噴霧機、石灰撒布等)

⑤飼養頭数に応じた埋却地の確保状況について

※いずれも平成28年2月1日現在

平成27年に届出を行っている方で、畜舎の新・増築、消毒方法や埋却地の変更等がなければ、①および②の提出になります。

なお、少頭(羽)数飼養者の方は、「①基本情報」のみの報告となります。

<少頭(羽)数飼養の基準>

牛、水牛、馬	…… 1頭	
鹿、めん羊、山羊、豚、いのしし	…… 6頭	未満
鶏、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥	…… 100羽	未満
だちょう	…… 10羽	未満

各種様式については個人宛てに配布しますが、必要な方は家畜保健衛生所および農協各支所にも置いてありますので、ご利用下さい。

ご不明な点等があれば、家畜保健衛生所までお問合せください。



口蹄疫および鳥インフルエンザ発生状況

H27年6月以降、東アジア地域において、口蹄疫の新たな発生は確認されていませんが、引き続き注意が必要な状況です。農場へのウイルス侵入防止のため、飼養衛生管理の徹底強化をお願いします。

鳥インフルエンザについては、中国や韓国において継続発生しています。さらに、11月以降、国内の野鳥からもウイルスが分離されており、九州内でも確認されています。ウイルスの侵入リスクが非常に高い状況にあることから、鶏を飼われている方は防鳥ネットの確認等、農場へのウイルス侵入防止の徹底強化をお願いします。

国内で検出された鳥インフルエンザウイルス (2015年11月以降)

	都道府県	材料	遺伝子型
11月	島根県	野鳥糞便	低病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N3亜型)
	徳島県	野鳥糞便	低病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N3亜型)
12月	宮崎県	野鳥糞便	低病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N3亜型)
	島根県	野鳥糞便	低病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N3亜型)
	茨城県	野鳥糞便	低病原性鳥インフルエンザウイルス (H7N2亜型)

※12月25日現在



牛・豚飼養農家の皆様に気をつけてほしいこと

- 農場に入る際には靴や持ち込む物の消毒徹底をしましょう。
- 関係者以外の人や車を農場に入れないようにしましょう。
- 農場に立入る車や家畜に直接接触する物は必ず消毒しましょう。
- 発生国に滞在していた人、海外からの土産品、海岸への漂着物など、ウイルスを伝播させる可能性がある人や物は農場に近づけない。
- 口蹄疫が発生している国への渡航はできるだけ自粛しましょう。
- 毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡しましょう。

現場後代検定取得交配へ御協力を

平成27年度第3回目の現場後代検定取得交配（試験種付け）が始まります。壱岐地区での対象牛は、雲仙市産の「晴之国（はるのくに）」号です。

本牛の父は、全国的にも評価の高い糸桜系種雄牛「平茂晴」で、母も長崎県でトップクラスの産肉育種価（枝肉重量・BMS）を持っていることから、本牛は質量兼備の能力を期待できる牛です。

交配頭数は35頭、交配期間は平成28年1月1日～2月15日です。

なお、試験種付けを行った場合は補助金が交付されますので、詳しくは家畜保健衛生所へお問い合わせ下さい。

晴之国

2014子南黒 1471967588（平成26年8月6日生）生産地 雲仙市吾妻町



☆「晴之国」号のプロフィール
生年月日：平成26年8月6日生
生産地：雲仙市吾妻町
血統：平茂晴- 福之国- 安平

平成27年度家畜保健衛生業績発表会が開催されました

11月26日、長崎市において長崎県家畜保健衛生業績発表会が開催されました。当日は県内の家畜保健衛生所職員をはじめ、動物衛生研究所や製薬会社の先生方など多数の畜産関係者が参加されました。

当所からは中野獣医師が「肉用牛繁殖の繁殖成績改善を目的とした経営指導での取り組み」について発表しました。関係機関が連携した繁殖成績改善対策について高く評価されるとともに多くのご意見をいただきました。今後も繁殖成績の更なる向上を目指し、壱岐の畜産がますます発展していくように努めてまいります。

経営指導での取り組み



家保職員による繁殖検診



関係機関による農家指導

アカバネ病などの牛異常産にご注意ください！

県では毎年6月から11月にかけて、県下全域の未越夏牛を対象に、蚊やヌカカが媒介するアルボウイルス（アカバネ、イバラキ、牛流行熱ウイルスなど計8種類）の流行状況を調査しています。

その結果、9月時点で、諫早市、佐世保市および対馬市でアカバネウイルス、五島市でピートンウイルスに感染した牛が確認されています（11月分については検査中）。

なお、アカバネウイルスについては九州全域、ピートンウイルスについては福岡県および鹿児島県でも感染牛が確認されており、さらに、大分県ではイバラキウイルス感染牛が確認されています（いずれも9月時点）。

壱岐島内でも3農場（郷ノ浦町、芦辺町、勝本町）のご協力を得て調査中であり、9月までに感染牛は確認されていませんが、注意が必要です。

今後、流産や子牛の体形異常などが見られた場合には、アカバネ病やピートンウイルス感染症の可能性も否定できませんので、かかりつけの獣医師や家畜保健衛生所までご連絡をお願いします。



アカバネ病により起立不能となった牛



畜魂祭



昨年末に畜魂祭を執り行いました。平成27年も数多くの牛が当所の解剖室で病性鑑定やBSE検査を受けました。今年は少しでもその数が減ることを願っています。

つぶやき

壱岐に来て早や9ヶ月がたちました。来た当時は、イカをたくさん釣るぞと気合も入っていたが、去年は釣果ゼロ。釣れない原因は、運？それとも技術不足？。今年こそは、色々工夫しながら、皆さんにお土産で渡せるようにたくさん釣るぞー！

（つね）

